

のとしま臨海公園水族館 「ジンベエザメ館 青の世界」



エントランス 外観

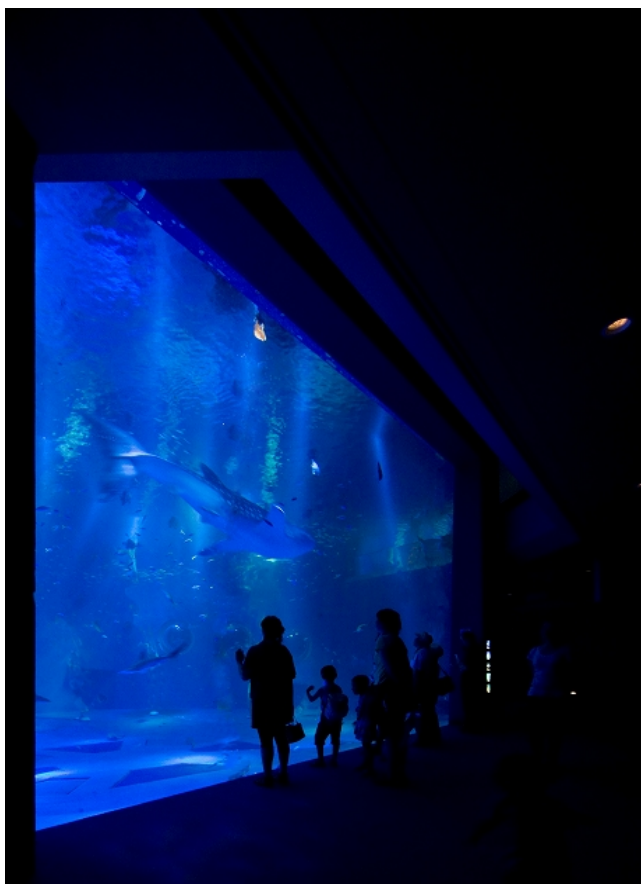
のとしま水族館は、昭和57年7月の開館以来、多くの県民に親しまれてきたが、より一層の魅力向上を図るため、「イルカたちの楽園」や「アザラシ万華鏡」など、動物本来の生態を間近に感じられる展示に工夫を凝らしている。

「ジンベエザメ館 青の世界」は、ジンベエザメを展示する施設としては日本海側の水族館では初となり、能登地域における新たな観光交流の拠点施設となった。

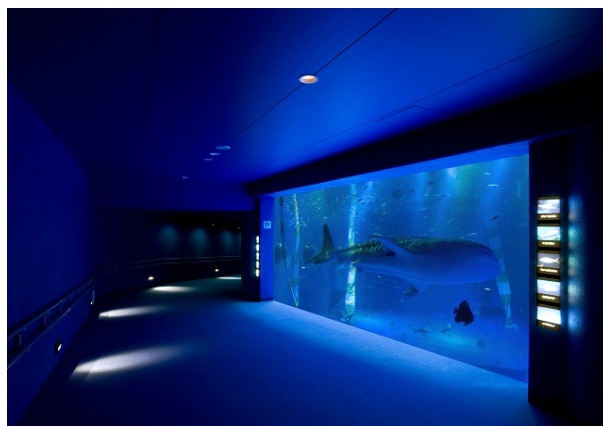
敷地の高低差を活かし、水槽外側に配置したスロープを、観覧を楽しみながら本館に至る。また、建物内は、水の空間に包まれた神秘的な青の世界を体感してもらえよう群青色で統一し、青を基調とした照明演出を行っている。



水面を泳ぐジンベエザメを間近に見ることが可能



当施設最大の亚克力パネル
(幅8,300mm×高さ5,680mm×厚さ325mm)



スロープ状の観覧通路沿いに視点場を展開



目を通過する迫力ある観覧

水槽は、最大の遊泳空間を確保できるよう八角形とし、観覧通路沿いには8つの視点場を設け、それぞれの層に棲む魚類を観覧できる。このことにより、水面から水槽底部までの幅広い視点から、目の前を悠然と泳ぐジンベエザメの姿を間近に観覧することができ、他の類似施設にはない当施設の大きな特徴となっている。



濾過装置

1,600t水槽の「いのちを維持する装置」は、環境保全の大切さを
知ってもらおう学習の場として見学が可能

DATA

④文化体育施設
七尾市能登島曲町 地内
平成21年8月～平成22年7月
(「ジンベエザメ館 青の世界」)
鉄筋コンクリート造:地上2F
のべ1,111㎡
(機械室)
鉄筋コンクリート造:地上1F
のべ45㎡
(濾過装置)
密閉式砂濾過方式
1,600t/h(24ターン/日)